

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：中央ブロック

マダカアワビ

海域	太平洋中・南部	参加機関	水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部、千葉県水産総合研究センター、東京都島しょ農林水産総合センター、同大島事業所、神奈川県水産技術センター、三重県水産研究所、徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課、宮崎県水産試験場
----	---------	------	--

(1) 調査の概要

- ・水産技術研は生態学的特性に関する文献情報および漁業関連情報の収集を実施した
- ・各都県は生物情報収集調査を実施した
- ・本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報を収集した

(2) データ収集状況

- ・千葉県では、2004～2021年の主要漁場別漁獲量を収集済み
2022年以降の漁獲量を収集中
- ・東京都では、1952～2020年のアワビ類（クロアワビ、メガイアワビを含む）の主要漁場別漁獲量を収集済み
2021年以降の漁獲量を収集中
- ・神奈川県では、2015～2021年の主要漁場別漁獲量を収集済み
2022年以降の漁獲量を収集中
- ・三重県では1994～2009年、2016～2021年の主要漁場別漁獲量を収集済み
2022年以降の漁獲量を収集中
2019年度の県独自の資源評価結果を収集済み
- ・徳島県では、2002年、2011～2021年の主要漁場別漁獲量およびCPUEを収集済み
2022年以降の漁獲量を収集中
- ・宮崎県では、2020～2021年のアワビ類（クロアワビ、メガイアワビを含む）の漁獲量を収集済み
2022年以降の漁獲量を収集中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：文献から情報収集済み

- (2) 年齢・成長：文献から情報収集済み
- (3) 成熟・産卵：文献から情報収集中
- (4) 被捕食関係：文献から情報収集中

(4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和5年度に作成
- ・都県によりデータの集計方法が異なる（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビがあわび類として合算等）ため、マダカアワビの漁獲量の算定や資源動向の把握が困難